DēLonghi

icona

Electric Kettle

デロンギ
アイコナ
電気ケトル

型式番号
家庭用 **KBO2001J**

※本体の型式番号「KBO2001J」の後に続くハイフン
　およびアルファベットは、色番号を表すものです。

取扱説明書

この度は、デロンギ アイコナ 電気ケトル KBO2001J をお求めいただきまして、誠にありがとうございました。製品を正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

保証書付



Made in China

KBO2001J の特長

●優れた耐久性と堅牢性

メタルボディの採用で、高級感と耐久性を兼ね備えたモデルです。

●必要なときに必要な分量だけを沸かす

保温タイプの電気ポットとは違い、その都度、必要な分量だけを沸かすことができ、経済的です。

●持ち運び自由、テーブルに直置きが可能

●自動電源OFF機能、空だき防止機能付き

お湯が沸いたときや、ケトルを電源ベースから持ち上げたとき、自動的に電源が切れます。ケトル内が空または水が少ない状態になったときも、自動的に電源が切れます。

●ケトル内部のお手入れが簡単

ヒーター部がむき出しになっていない「コンシールド・ソール構造」により、内部のお手入れがしやすく、清潔さを保てます。

目次

安全上のご注意　各注意事項を、必ずお守りください。

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」と「注意」の２つに分け、明示しています。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	**この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。**

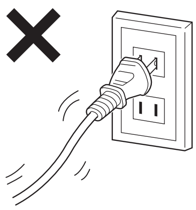
4. 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示が付いています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。			この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
：禁止	：接触禁止	：水ぬれ禁止	：指示を守る
：分解禁止	：ぬれ手禁止	：風呂・シャワー室での使用禁止	：電源プラグを抜く

⚠ 警告

電源／コンセントについて

取り付けの悪いコンセントは絶対に使わない
火災・感電の原因。

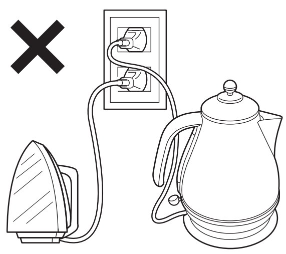


延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは絶対に使わない
発火の原因。
コンセントや電源プラグ／電源コードが異常発熱します。

電源は交流100V（50/60Hz）で「15A125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む
火災・感電の原因。



コンセントは本製品だけ(単独)で使用する
発火の原因。
他の器具と併用すると、コンセント内部が異常発熱します。



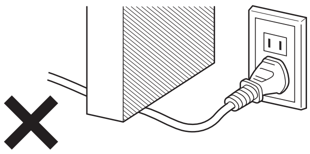
警告

電源プラグ／電源コードについて

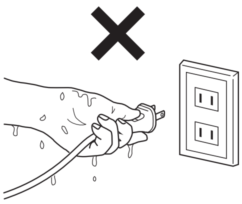
電源コードをコードホルダーに巻きつけたまま使用しない
火災の原因。

動作中に電源プラグを抜き差ししない
感電・火災の原因。

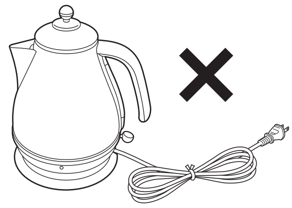
電源コードは破損したまま使用しない。また、電源コードを傷つけない（加工する・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・束ねる・重い物を載せる・挟み込むなど）
感電・火災の原因。
電源コードが破損している場合は、お求めの販売店または当社サービスセンター（10 ページ参照）に相談する。



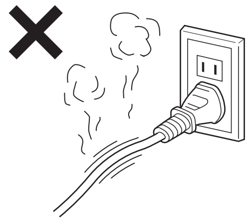
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電・ケガの原因。



使用の際は、電源コードが余っても束ねない
発火の原因。
熱の逃げ場がなくなって高温になります。



電源プラグ／電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
ショートによる発火の原因。
使用中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電源を切り、お求めの販売店または当社サービスセンター(10 ページ参照)に、相談する。



電源プラグは、根元までしっかりと差し込む
火災・感電の原因。

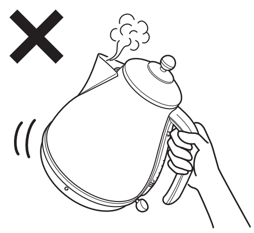
電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く
火災の原因。

使用中／使用後について

自分で絶対に分解・修理・改造は行わない
故障や発火の原因。

お子様だけでは使わせない。幼児の手の届くところで使わない
ヤケド・感電・ケガの原因。

ケトルを傾けたり、ゆすったり、お湯を入れたまま移動しない
お湯がこぼれ、ヤケドの原因。



⚠ 警告

使用中／使用後について

異常が生じた場合は、使用を中止する
事故や故障の原因。
万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの販売店または当社サービスセンター（10 ページ参照）まで連絡する。

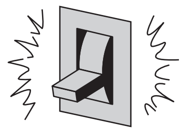
お手入れについて

本体のお手入れは電源プラグをコンセントから抜き、冷えてから行う
ヤケド・感電・ケガの原因。

⚠ 注意

電源について

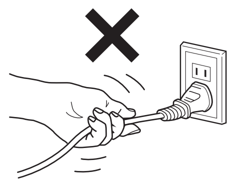
ブレーカーが落ちる場合には、電力会社に連絡する
使用中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、
電力会社に相談する。



電源プラグ／電源コードについて

使用中は、電源コードを本体に触れさせない
感電やショートの原因。
熱で電源コードが傷みます。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く
感電・ショートによる発火の原因。

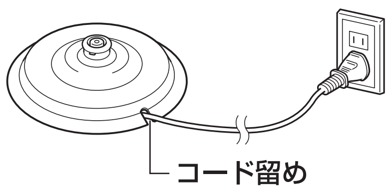


設置場所について

本体は不安定なところや、カーテン等の可燃物の側、熱に弱い場所に置かない
本体や置いた物が変形・変質したり火災の原因。

屋外や湿気の多い場所（部屋）、特殊な環境（硫化ガスの発生する場所、塩害などのおそれがある場所）で使わない
火災・感電・故障の原因。
製品の劣化を早め、製品寿命や製品の安全に悪影響を及ぼす可能性があります。

電源コードは、必ずコード留めにはめ込んで使用する
ヤケドの原因。
コード留めにしっかりはめ込まないと、電源ベースが不安定になり、ケトル本体が倒れたり、熱湯が吹きこぼれます。



注意

使用中／使用後について

ケトルに水以外のものを入れたり、他の用途で使用したりしない
火災の原因。
本製品は家事専用の湯沸かしケトルです。

使用中は、取っ手以外は触れない
ヤケド・ケガの原因。

本体が冷めるまで、ふたを開けない
ヤケドの原因。
ふたも高温になります。

ケトル底部や電源ベースに水（お湯）をこぼさない
ショートや感電の原因。
こぼしてしまった場合は、直ちに電源を切り、使用を中止し、お求めの販売店または当社サービスセンター（10 ページ参照）に相談する。

使用後は、必ず電源プラグを抜く
絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因。

使用する際は、必ずふたを閉める
ヤケド・火災の原因。
「自動電源 OFF 機能」がはたらきません。



定格の分量（最小 0.3 ℓ ～最大 1.7 ℓ = MAX のライン）を守る
ヤケドの原因。
余分に水を入れると、沸騰したお湯が吹きこぼれます。



お湯を注ぐときは、ケトルを電源ベースから離す
ヤケド・ケガの原因。

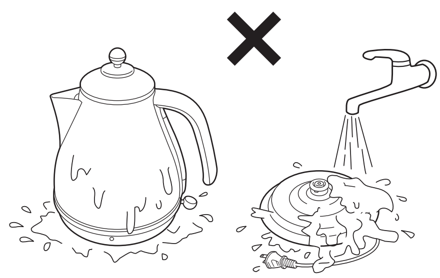
付属の電源ベースと共に使用する
火災・感電の原因。
ケトル本体を、直火（ガス台など）や電気ヒーター、電磁調理プレートなどで使用しない。

本体が転倒、落下したときは使用せず、点検を依頼する
感電・火災の原因。

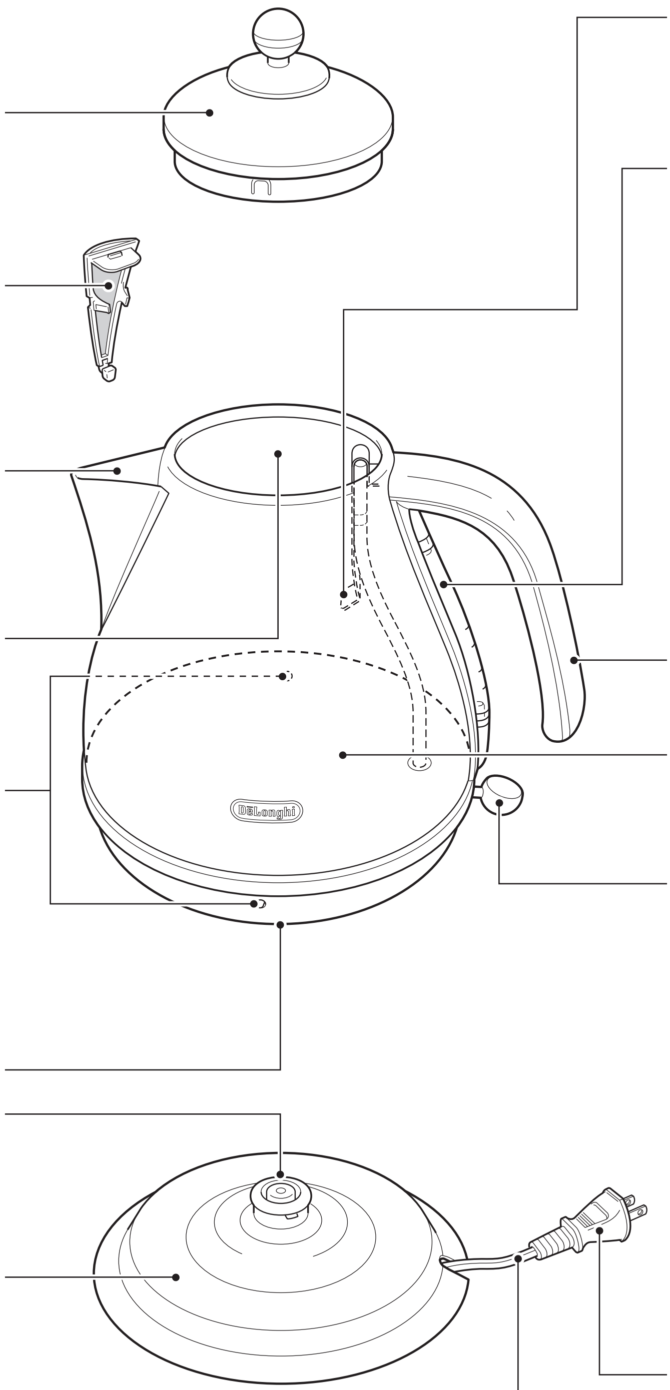
接続部にピン・針金などを差し込んだり、ゴミを付着させない
感電・ショート・故障の原因。

お手入れについて

絶対に、ケトル底部や電源ベース、電源プラグ／電源コードを水に浸したり、水洗いしない
感電・火災・故障の原因。



各部の名称とはたらき



ふた

フィルター
取り外して、お手入れできます（取り付け済み）。

注ぎ口

注水口

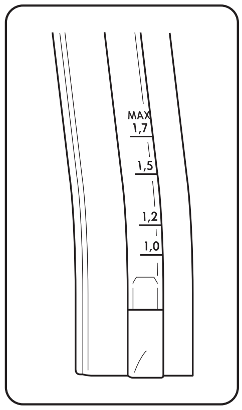
電源ランプ（2か所）
加熱中はランプがオレンジ色に点灯します。お湯が沸くと自動的に電源が切れ、ランプが消灯します（底部反対側にもあります）。

接続部 ケトル底部（凹）／電源ベース（凸）

電源ベース
ケトルはどの方向からでもセットできます。底面には**コードホルダー**があります。

MAX表示
「MAX」のラインを超えて注水しないでください。

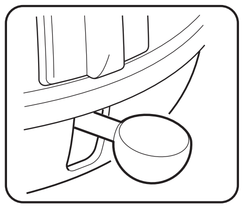
水量計



取っ手

ケトル本体
※水以外は入れないでください

電源スイッチ
押し下げると電源が入り、加熱が始まります。

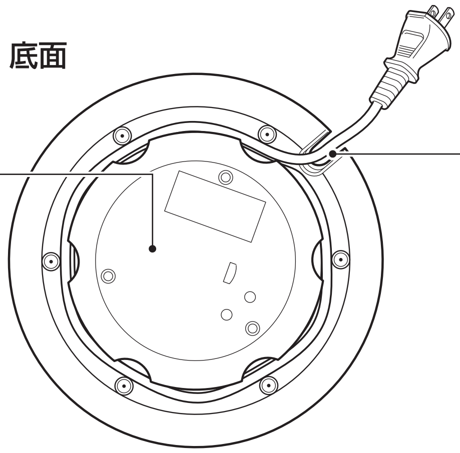


ケトルを電源ベースから持ち上げたり、ケトルが空だき状態になると、自動的に電源が切れます（スイッチが元に戻ります）。

電源プラグ

電源コード

底面



コードホルダー
ケトルを使用しないとき、電源コードがじゃまにならないように、巻きつけておきます。

電源コードをコードホルダーに巻きつけたまま使用しないでください。

コード留め（1か所）
電源コードは、必ずコード留めにはめ込んでください。

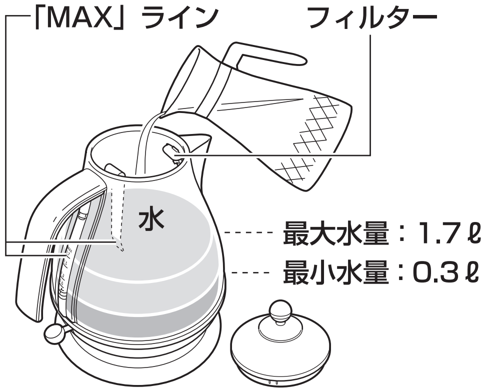
使用手順

初めて使う際は、沸いたお湯から金属の臭いがすることがあります。事前に「MAX」のラインまで水を入れて沸騰させてください。これを2～3回繰り返してからご使用ください。

1 ケトルに注水する

ケトルを電源ベースから外し、新鮮な水を必要な量（0.3ℓ～1.7ℓ）だけ入れます。フィルターが装着されていることを確認して、**ふた**をします。

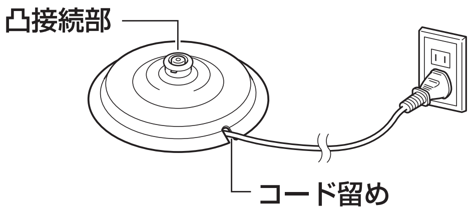
- 注水量がMAXのラインを超えると、沸騰したお湯が吹きこぼれますので、おやめください。
- 本機は保温機能がありませんので、必要なときに必要な量だけ沸かしてください。



2 電源を接続する

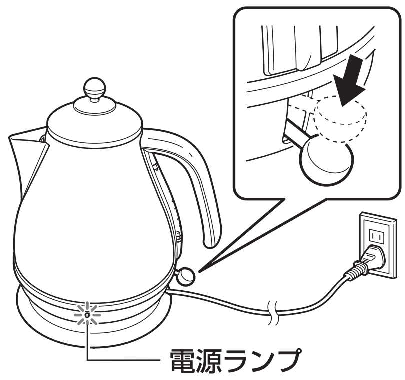
電源プラグを壁面のコンセントに直接差し込みます。根元までしっかりと入れてください。

- 電源コードは、コードホルダーからすべて引き出して使用してください。
- 電源コードは、必ずコード留めにはめ込んでください。



3 ケトルを電源ベースにのせ、電源を入れる

水を入れたケトルを、電源ベースの中央に正しく（＝ケトル底部の凹接続部と電源ベースの凸接続部を合わせて）セットします。
ふたがしっかり閉まっていることを確認して、電源スイッチを押し下げます。
電源が入ると、ランプが点灯します。



※フィルターの着脱方法は、8ページ「お手入れのしかた」をご参照ください。

ご使用の際は、必ずフィルターを装着し、ふたをしてください。

ふたをしない、または、フィルターを取り付けないで使用する（電源を入れる）と、サーモスタットが温度を感知できないために「自動電源OFF機能」がはたらかず、電源が入ったままの状態が続きます。
必ずフィルターを装着して、ふたをしてください。
また、**使用中は、絶対に注ぎ口をふさがないでください。**



使用手順（つづき）

4 お湯が沸くと、電源が切れる

お湯が沸くと「自動電源OFF機能」のはたらきで、自動的に電源が切れます（→電源スイッチが元に戻り、ランプが消灯します）。

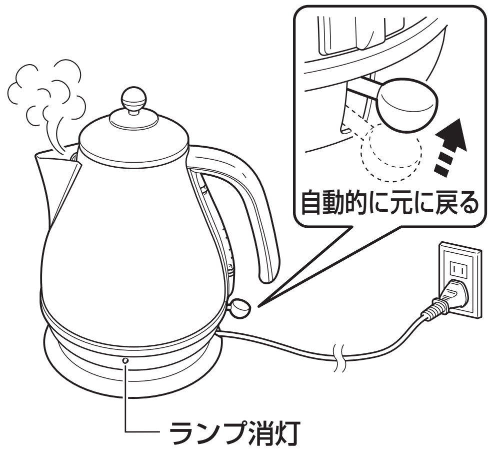
【お湯が沸く前に、電源を切る場合】

・電源スイッチを元に戻す

または

・ケトルを電源ベースから持ち上げる→電源スイッチが、自動的に元に戻る

【連続して使用する場合】
約1分間の休み（＝電源OFF状態）をとってください。

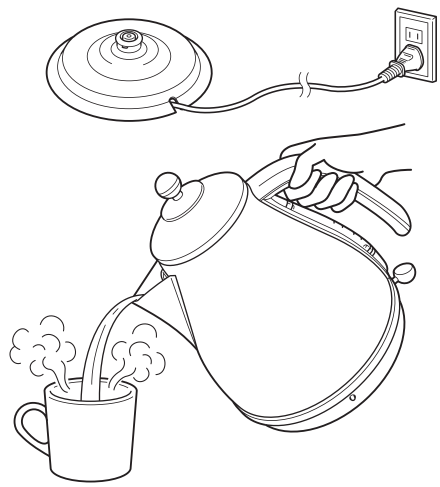


5 お湯を注ぐ

ケトルを電源ベースから外し、ふたがしっかりと閉まっていることを確認して、お湯を注ぎます。
なお、ケトル底部は熱くなりませんので、直にテーブルなどに置くことができます。

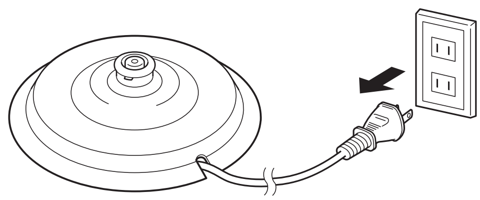
注 意

・お湯が沸いたときのケトル表面は、大変熱くなります。しばらくは熱いので、取っ手以外は触れないでください。ヤケドする危険があります。
・ぬれたテーブルの上に置くことは、お止めください。



＊ 使用後は…

電源プラグをコンセントから抜き、電源コードをコードホルダーに巻きつけます。
ケトルは空にして、お湯を残さないでください。
※お手入れ（8ページ参照）は、各部が冷めてから行ってください。



自動電源OFF機能

お湯が沸いたときやケトルを電源ベースから持ち上げると、自動的に電源スイッチが元に戻り、電源が切れます。

空だき防止機能

電源を入れ、ケトル内が空もしくは水が少ない状態になった場合は、空だき防止機能がはたらいて、自動的に電源スイッチが元に戻り、電源が切れます。
※この機能がはたらいた場合は、ケトルを電源ベースから外し、しばらく冷ましてください。

お手入れのしかた

汚れ具合や使用頻度によりますが、定期的に下記の要領でお手入れをしてください。

お手入れをするときの注意点

事前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用後すぐのお手入れはやめ、各部が冷えてから行ってください。

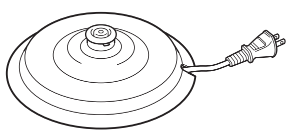
クレンザー（研磨剤）やベンジン、シンナー、金だわしなどは、使用しないでください。本体の表面が変質し、はがれ・変色・樹脂部品の割れの原因になります。

水洗いできません・・・・・・・・・・

ケトル（内部のみ、すすぎ洗い可）



電源ベース



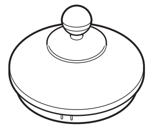
電源コード／電源プラグ

- 外側の汚れは、柔らかい布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭き取ります。
- 落ちにくい汚れは、お湯で薄めた台所食器用洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞ってから拭き取ります。その後、お湯を含ませ固く絞った布で、洗剤を残さず拭き取ってください。
- 電源プラグ／電源コードは、柔らかい布で空拭きだけしてください。

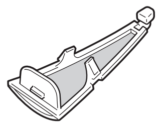
※ケトルの内部は、水洗いできます。

- 外側や底部に水をこぼさないようにしてください。

水洗いできます・・・・・・・・・・・・



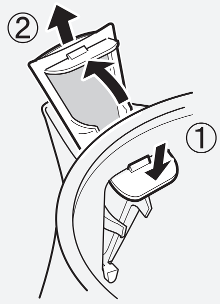
ふた



フィルター

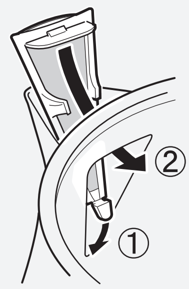
フィルターの外しかた／取り付けかた

【外す】



フィルター上部のタブを押してツメの一部を外し（①）、そのまま取り外します（②）。

【取り付ける】

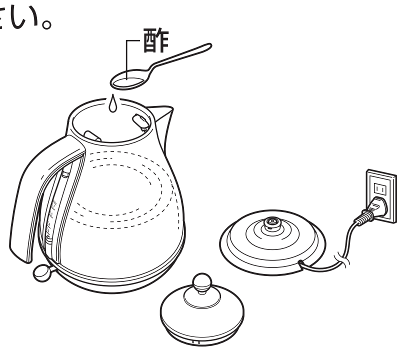


注ぎ口の下側にフィルターのツメをかけ（①）、カチッと音がするまではめ込みます（②）。

柔らかいスポンジと台所食器用洗剤で、水洗いできます。ケトルには、乾いてから取り付けてください。

石灰分の除去

長く使っていると、ケトルの内壁に石灰分が付着し、白い膜ができます。使用頻度や水質によりますが、付着が目立つ場合は、以下の要領で石灰分を除去してください。



①ケトルに1.5ℓの水と**大さじ4～5杯の食酢**を入れ、ふたをします。

②ケトルを電源ベースにセットし、電源スイッチを押し下げて電源を入れます。

③沸き上がったら（＝電源スイッチOFF）、お湯を排水し（**ヤケド注意**）、ケトルを空にします。

④**1分程度の休み（電源OFF状態）をとった後、**ケトルを水だけで満水にして、上記②③を行います。

⑤酢の臭いが消えるまで、上記④を繰り返してください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じたときは、修理を依頼される前に、下記をもう一度チェックしてみてください。それでも異常があるときには、修理をご依頼ください。

症状	予想される原因	対処のしかた
温度が上がらない／沸騰しない	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
	空だき防止機能がはたらいた。	ケトルを電源ベースから外し、しばらく冷ましてからご使用ください。
お湯が吹きこぼれる	規定量以上の水が入っている。	MAX のラインを超えて注水しないでください。
本体が熱い	お湯が沸いたときのケトル表面は、大変熱くなります。	故障ではありません。

仕様

製品名称／型式番号		デロンギ アイコナ 電気ケトル／ KBO2001J
定格	電圧／周波数	交流100V　50/60Hz
	消費電力	1200W
容量		1.7ℓ（0.3ℓ～ 1.7ℓ）
外形寸法／質量(※)		幅185 × 奥行235 × 高さ270mm ／ 1.3kg

各部		材質
ケトル	本体	ステンレス（SUS304）
	底部	ポリプロピレン
電源ベース		ポリプロピレン
水量計		ポリプロピレン

※外形寸法および質量は、電源ベースを含めたものです。

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは､｢電気･電子機器の特定有害物質の使用制限｣を規定した欧州連合（EU）による指令です。

この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（ＰＢＢ）、ポリブロモジフェニルエーテル（ＰＢＤＥ）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。

RoHS

アフターサービスについて

1)使用中に異常（★）が生じた場合は、ただちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。その後、9ページの「故障かな？と思ったら」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社サービスセンター（下記参照）にご相談ください。

〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉

- 使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- 本体や電源ベースに水などの液体をこぼした
- 電源コード、電源プラグが変形／破損している
- 本体に強い衝撃（転倒・落下）を与えた
- 取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

2)万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に**1.お求め時期　2.製品名称と型式番号　3.故障の状況**――を連絡のうえ、修理を依頼してください。なお、当社サービスセンターにご依頼される場合は、お電話または直接宅配便でお送りください。

※宅配便等を利用して当社サービスセンター（下記参照）に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージ（梱包箱）に同封してください。

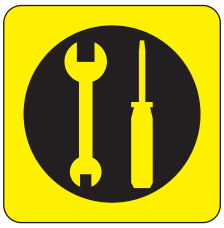
※送り先については、事前にお電話あるいは下記ホームページにてご確認ください。

3)保証期間中（1年）は、保証書に記載されているものについては、無料で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有料で修理いたします。

4)補修用性能部品の保有期間について

当社では、この製品の補修用性能部品について、最終輸入日を起点に5年間保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5)まごころ点検のおすすめ：長い期間ご使用いただくために、専門技術者による点検（お預かり）をおすすめします。点検の依頼および料金などにつきましては、当社サービスセンターまでお問い合わせください。



※下の枠内に、ご購入年月日を記入してください。点検の目安になります。

ご購入年月日:	年	月	日

6)デロンギ再資源化システムについて

ご不用になった製品は、下記の要領に従い、当社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について：再資源化の費用は当社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアーパッキン等にくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

※送り先については、事前にお電話あるいは下記ホームページにてご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または当社サービスセンターまでお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター　（受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30 ～ 17:00）

コールセンター　Tel.0120-804-280 ／ Fax.045-450-3291

〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-9　安田倉庫（株）内 4 号ビル

ホームページでのお問い合わせ（URL）　**http://support.delonghi.co.jp**